



## 中澤まゆみ Nakazawa Mayumi

ジャーナリスト、ノンフィクションライター。

1949年、長野県生まれ。雑誌編集者を経てフリーランスに。人物インタビュー、ルポルタージュを書くかたわら、海外を取材。自らの介護体験を契機に医療・介護・福祉・高齢者問題にテーマを移し、執筆、講演講師などで活躍。『ユリ一曰系二世ハーレムに生きる』(文藝春秋)、『おひとりさまの「法律」』(法研)、『おひとりさまの終活』(三省堂)、『おひとりさまの終の住みか』『人生100年時代の医療・介護サバイバル』(以上、筑地書館)など、多数の著書がある。



## 村山澄江 Murayama Sumie

司法書士。公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート会員、簡裁訴訟代理関係業務認定会員。

1979年、愛知県生まれ。2003年、司法書士試験合格。認知症対策の相談者数は延べ1,300件以上。民事信託・成年後見の専門家としてセミナー講師、YouTubeの動画配信、新聞各社やメディアへのコメント掲載など、多角的に活躍している。共著に『今日から成年後見人になりました』(自由国民社)がある。

認知症対策は  
「元気なうち」に、  
そして  
「70代の足音が  
聞こえてくる前」に  
行ってほしいのです。